取扱説明書

2015.1

Pina

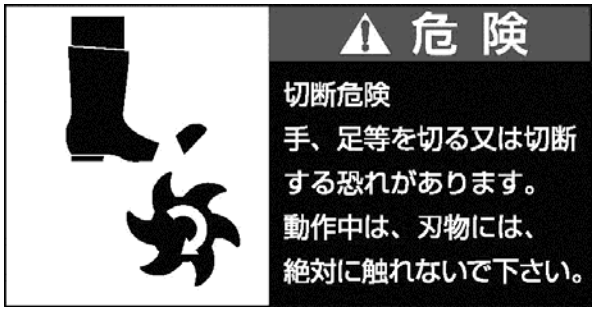
仲山鉄工株式会社
TEL ： (054)635-1383
FAX ： (054)635-0418
UR： http://www.nakayama-azz.co.jp
E-mail ： info@nakayama-azz.co.jp

取扱説明書

＜厳重注意事項＞

☆　保管及び稼動は第三者が接近しない場所を選んで行ってください。

☆　周囲への安全確保の為、下図の「一般安全警告記号」がブレードカバーに示されていることを始業前に確認して下さい。



☆　弊社に無断で改造をしないでください。

☆　狭小地で本機の移動・作業・メンテナンスなどは大変危険です。広い場所・作業周辺及び機械の状態の安全が確保されている事を確認して実施して下さい。

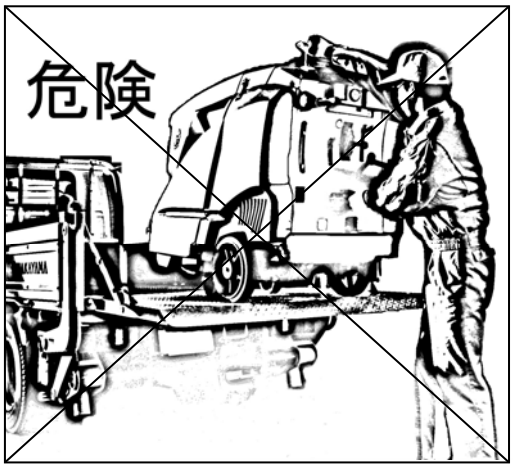
①　エンジン始動時
- パーキングブレーキが掛っている事を確認
- 平坦地であるか確認
- シフトレバーを手動レンジに入れる
- 前後進レバーを中立にする
- 周囲の安全（可動・回転部分への接触・接近による事故防止、換気など）を確認

②　本機から管理者やオペレーターが離れる場合、機械が動かない事を確認して下さい。
- 平坦地であるか確認
- 前後進レバーを中立にする
- パーキングブレーキを掛ける
- シフトレバーを切削レンジに入れる
- エンジンを停止し、エンジンキーを抜く
- メインスイッチを OFF にする

③　移動作業
- 切削区域以外での移動時は機械からブレードを外す
- ブレードミッションが付いている機械はブレードミッションのシフト位置をニュートラルの状態にする
- 傾斜地での運転は控える
- 走行中・傾斜地でのチェンジレバーの操作はおやめ下さい

④ 機械の積み下ろし作業

- ブレードカバー・ブレードは必ず外して積み降ろしして下さい。
- 必ず平坦地で行ってください（坂道での作業は非常に危険です）
- 機械の後ろ（操作盤正面）には立たないで下さい。（ゲートの上に機械があるときはカッターの横から作業するようにして下さい）
- パワーゲートの昇降は必ずエンジンを停止、チェンジレバーを切削レンジ、ブレーキを掛けた状態で行って下さい。また、日常からブレーキの点検をお願いします。
- パワーゲートの端部に落ち止めストッパーを設けて下さい。
- パワーゲートの経年劣化による垂れを改善してください。（平坦地でカッターをパワーゲートに載せただけで下り坂の状態になっているのは非常に危険です。）



⑤ 可燃・引火・爆発の危険性への注意

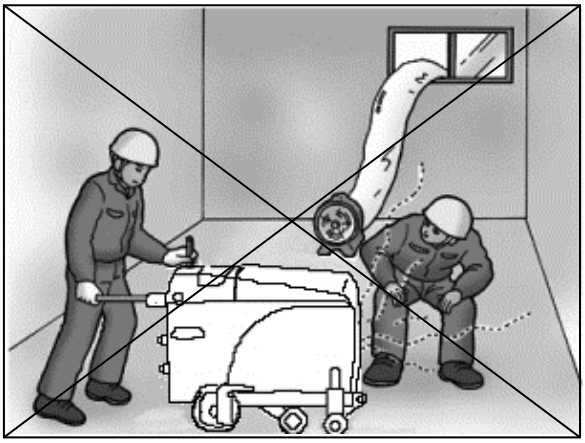
- 給油作業は換気の良い場所で車体を水平にして、エンジンを停止してから行って下さい。
- 給油中はタバコの火や他の火種になるものを近づけないでください。また静電気が発生しないようご注意下さい。
- ガソリンがこぼれないよう十分気をつけてください。万が一こぼれた場合は速やかにふき取って下さい。
- 給油後はキャップを確実に締めてください。
- マフラーなど高熱となる付近にガソリン・マッチ・紙・わらくず等の可燃・引火の恐れのある物を近づけないようご注意下さい。
- 機械からの排気熱により周辺を変色させる、植物を枯らせてしまうなどの危険性にも配慮して作業を行ってください。

⑥ 点検・整備

- 作業の始業前、終了後、定期点検を必要に応じて実施して安全にお使い下さい。
- 機械が冷めている状態を確認して実施してください。
- 点検で異常のある場合は速やかに整備を行って下さい。
- 主な点検・整備項目を本書付録に列挙しましたので参考にして下さい。

⑦ 排気ガス（一酸化炭素）中毒や酸欠事故をおこさないために

トンネル内や室内等の閉鎖空間で､エンジン式コンクリートカッターを使用すると一酸化炭素中毒になる恐れがあります。健康に重大な障害をもたらすばかりか、死亡する恐れがありますので、閉鎖空間での使用はおやめ下さい｡(暖気運転中でも危険は変わりません、エンジンを作動させていれば、空間内の酸素を消費して、CO・CO2 を排出します。)



一酸化炭素中毒予防について厚生労働省「建設業における一酸化炭素中毒予防のためのガイドラインの策定について」基発第三百二十九号　平成 10 年 6 月 1 日、「労働安全衛生規則」などを参考にして下さい。

☆　ブレードについて

- ブレード製造業者が提供した取扱説明書を参考にしてください。
- コンクリートカッター用に設計されたブレードをお使い下さい。取り付け可能なブレード中心穴径は２７ｍｍとなっています。
- 作業開始前にブレード（回転方向、回転数、ガタツキなど)、ブレードカバーの正しい取り付け状態である事を確認して下さい。
- クラックやチップ飛び等、破損したブレードは速やかに交換してください。

操作棒固定

操作棒を引き出し、ハンドル固定ボルトで確実に固定して下さい。

前方ゲージ操作（使用前に刃物とポインターの芯合わせをして下さい。

トップカバー上の表示のレバーを前後に倒すと、ゲージが前後に倒れます。

レバーを離せば任意のところでゲージがとまります。

道具箱の中にあるロープをゲージの先端の輪に結んでおけば緊急時は、ゲージを手動で引き上げることもできます。

後方ゲージ

右後車輪の後方ゲージを引き出し、ポインターを回転すると後方ゲージが使用できます。

前方ゲージと後方ゲージをラインに合わせると切削位置を正確に確認できます。

不要のときはゲージを押し上げて格納して下さい。

廻送/手動/切削のシフトチェンジ

リヤカバー中段にあるチェンジレバーで　廻送　手動　切削　のシフトチェンジをして下さい。

シフトチェンジは前後進レバーを中立にして車体の走行を停止してから行って下さい。エンジンは作動してもかまいません。

エンジン停止中に切削レンジに入れておけば車体はブレーキの効いた状態になります。

スピードコントロール

前後進レバーを中立にしてチェンジレバーを廻送又は切削に入れ、上げると前進し下げると後退します。前後進レバーの位置でスピードのコントロールができます。

走行スピードは、従来のカッターに比べると格段に速くなっておりますので、廻送はエンジンをスロー回転で行って下さい。

切削もスピードレバーの操作を慎重に行って下さい。

パーキング

リヤカバー右側下部のパーキングレバーを下方に踏み込むと、ブレーキが効きパーキング状態になります。レバーを上にキックアップすればブレーキが解除されます。

ブレーキのかかった状態で走行しますと、走行装置を損傷する場合がありますので、注意して下さい。

クランクハンドルの回転停止

クランクハンドルを引き上げてハンドルボスのツバを、スタンドの凹部にはめ込むとハンドルとシャフトは分離します。ハンドルは分離した状態で保持されます。
この状態では車体が走行してもクランクハンドルは回転しません。
切削スピードの速い場合や、廻送時はクランクハンドルが回転すると危険ですので、この状態で作業することをお勧めします。
手動走行時は、ハンドルを少し上げ、ハンドルを回しながらはまり込み位置をさぐり、シャフトにしっかりと落としこんで下さい。
この状態でチェンジレバーを手動レンジに切り替えれば従来のカッター同様にクランクハンドルの回転で車体を前後進させることができます。

ブレードカバー（バキュームタイプ）

ブレードカバーのホリズントバーを本機のスライドポケットにはめ込み、ブレードカバーのサイドバーを本機のマストの内側にはまり込む状態でセットして下さい。
次に吸気ホース（2 本）をブレードカバー後部の吸気ノズルに確実に挿入して下さい。
中途半端な取付は、バキューム効果の減少になります。

ブレードカバー（12“～18” オープンタイプ）

このブレードカバー 1 つで 12 インチから 18 インチまでのブレードカバーとして使用します。
スライドクリップの溝を使用ブレードの大きさに合わせて、マストピンに合わせて下さい。次にカバーを下方に押し、キャッチクリップを本体のシャーシーにはめ込んで下さい。最後にスライドレバーを前に倒し、カバーのガタをなくして下さい。

バキュームスイッチ ON/OFF

バキュームスイッチを ON にするときは、低回転（アイドリング）の状態で ON にするか、ON にしてからエンジンをかけて下さい。
高回転では ON にしないで下さい。

バキュームタンク清掃

切削後 2 時間ごとにバキュームタンク内の砂利籠を取り出し、溜まった小砂利を捨てて下さい。
バキュームスイッチを入れエンジンを 1000rpm にして清水を 1 分間、吸気口から流し込みブロアーファンを洗浄して下さい。
泥水排出口付近に溜まった泥砂を洗い流し、ポンプ出口から清水が出るまで清水を流して下さい。
同様の清掃を 1 日の作業終了後も必ず行って下さい。

給油

給油栓から給油（無鉛ガソリン）して下さい。タンク容量は 12 リットルです。
オーバーフローしないように注意して給油してください。
（注）エンジンは必ず停止のこと

〔保障規定〕

弊社コンクリートカッター最初の御購入者に対し、弊社及び弊社代理店　双方が品質上又は製造上の欠陥と認めた場合は製品お引渡し日より 6 ヶ月間は、部品交換及び修理を弊社負担とします。
ただし、エンジンルームにつきましては、エンジンメーカー（ホンダ）の保障規定に従うものといたします。保障を得るための購入日の根拠として、御購入の納品書もしくは受領書を保管して下さい。

PINA 点検リスト

PINA を御使用の際下記点検及び交換を必ず行って下さい。

始動時点検項目

1）ベルト点検

下記ベルトの緩みはないか確認して下さい。

締め付け方法は、取扱説明書を参照して下さい。

（メインベルト・カウンターベルト・走行ベルト・ユニットベルト・ブロアーベルト）

2）ベアリング点検

異音はないか確認して下さい。

3）エンジンオイル点検

エンジンが水平の状態で、レベルゲージにて H－L の間にあることを確認して下さい。

又、著しい汚れがないか確認して下さい。

2.清掃及び交換項目

1）ベルト交換

ベルトの減り、亀裂が生じた場合は、交換して下さい。

2）エンジンオイル交換

初回は 20 時間、以降は 100 時間毎に行って下さい。

交換時にレベルゲージ L 線より上、H 線より下であることを確認して下さい。

又、交換時の積充量は下記を参考にして下さい。

a)オイル交換時	約 1.1 リットル
b)オイル＋オイルフィルター交換時	約 1.2 リットル

3）オイルフィルター交換

3 ヶ月又は 300 時間毎に行って下さい。

4）エアクリーナー

1 ヶ月又は 50 時間毎に清掃して下さい。

6 ヶ月又は 300 時間で交換して下さい。

5）ブレードカバー

ブラシが減ると吸引力が落ちますので早めの点検、交換をお願いします。

6）グリス UP

30時間毎にブレード軸. 100時間毎にカウンター軸. 前車輪にグリスを注入して下さい。

汚れたグリスがベアリングリテナーからはみ出てきますので、綺麗に拭き取って下さい。

＊下記調整作業は、必ずエンジンを停止し冷えてから行ってください＊

オイル一覧表

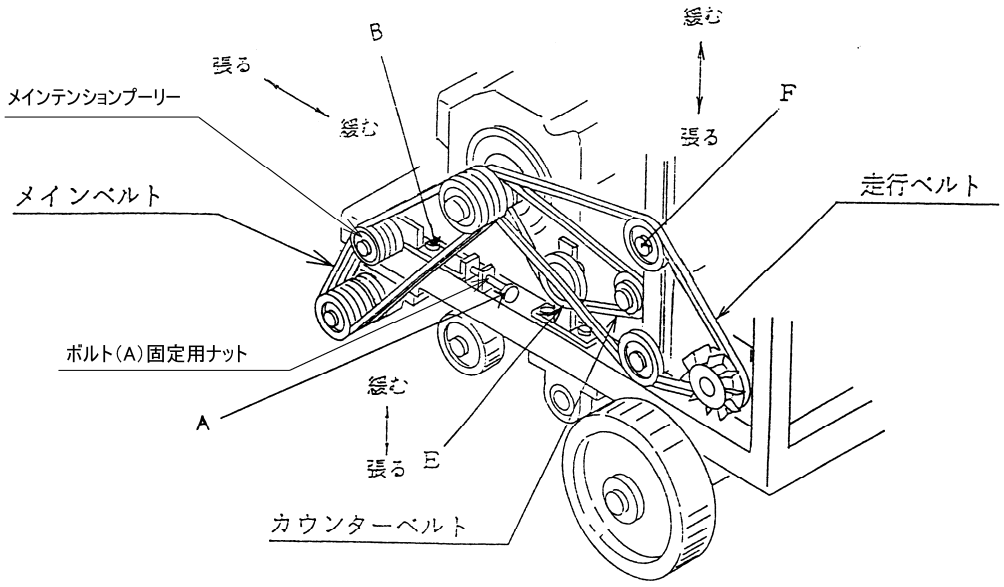
①エンジン	エンジンオイル	SE10W－30	相当品	PINA:1.2L
				AZZ:3.1L
				AZZⅡ:3.1L
				AZZ03K:3.1L
				AZZ353:3.1L
				AZZ401:3.1L
				AZZⅡ502:3.1L
				AZZⅡ601:3.1L
②ガバナー（メカ）	エンジンオイル	SE10W－30	相当品	40mL
③アクチュエーター	エンジンオイル	SE10W－30	相当品	180ｍＬ
④ＨＳＴ	エンジンオイル	SE10W－30	相当品	350mL
⑤走行ミッション	ギヤーオイル	ＳＡＥ90	相当品	2.0Ｌ
⑥ブレードミッション	マルチギヤーオイル（耐熱）	ＳＡＥ80W－90	相当品	2.0Ｌ（AZZⅡ）
				2.0Ｌ（AZZⅡ601）
				1.5L（AZZⅡ502）
				1.5Ｌ（ＡＺＺ401）
⑦油圧パッケージ	ハイドロオイル	ＩＳＯ32	相当品	800mＬ
⑧排水ポンプ	純正オイル	（交換時に御相談下さい）		500mL

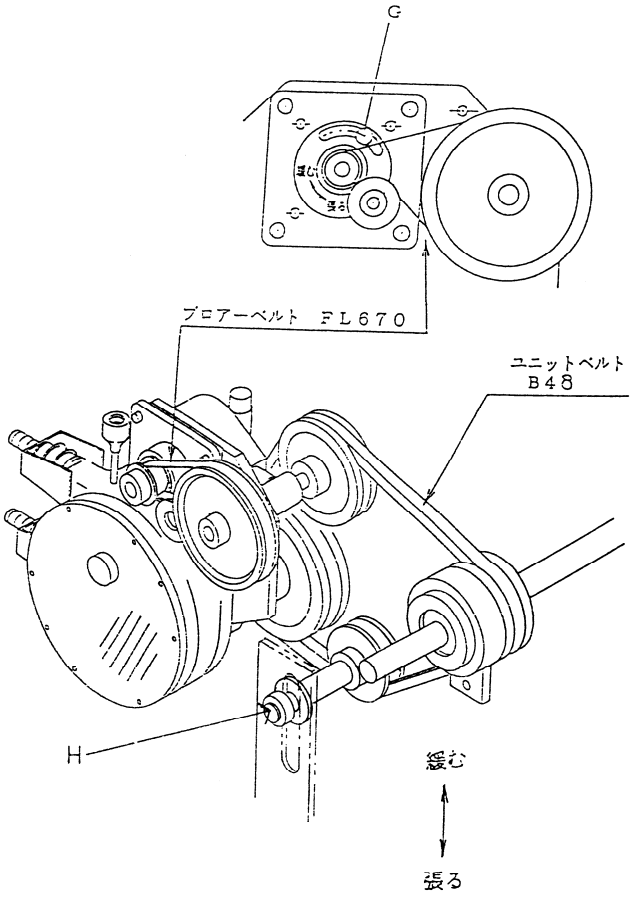
ベルトサイズ一覧表

使用箇所	ＰＩＮA20V	ＡＺＺ30V	ＡＺＺⅡ50V	ＡＺＺ03K
メイン	3Ｖ335×5	3Ｖ500×7	3ＶＸ560-4Ｒ×2	3ＶＸ530×7
ファン		ＲＡ48×1	ＲＡ54×1	ＲＡ50×1
カウンター	3Ｖ300×1	ＲＡ41×1	ＲＡ38×1	ＲＡ38×1
ＨＳＴ	3Ｖ560×1	ＲＡ25×1	ＲＡ25×1	ＲＡ25×1
バキュームユニット （号機を御確認下さい）	Ｂ48×1	ＬＢ45×1 ＬＢ47×1 ＬＢ48×1	ＬＢ47×1	ＬＢ47×1
ブロアー	ＦＬ670×1	ＦＬ670×1	ＦＬ670×1	ＦＬ670×1

使用箇所	AZZ353	AZZ401	AZZⅡ502	AZZⅡ601
メイン	3VX560-4R×2	3VX530-4R×2	3VX600-5R×2	3VX630-5R×2
ファン	RA55×1	RA55×1	RA55×1	RA55×1
カウンター	RA38×1	RA37×1	RA38×1	RA38×1
ＨＳＴ	RA26×1	RA26×1	RA26×1	RA26×1
バキュームユニット （号機を御確認下さい）	RCLB49×1	RCLB49×1	RCLB49×1	RCLB49×1
ブロアー	FL670×1	FL670×1	FL670×1	FL670×1

Pina


B
張る
緩む
メインテンションプーリー
緩む
張る
F
メインベルト
走行ベルト
ボルト(A)固定用ナット
緩む
A
張る
E
カウンターベルト


G
ブロアーベルト FL670
ユニットベルト
B48
H
緩む
張る

：メインベルト調整

1　ボルト（B）を緩める。
2　ボルト（A）固定用ナット及びボルト（A）を緩める。
3　ベルトの張りを、指で押し 8mm－10mm 位下がる程度にする。
4　ボルト（B）を締める。
5　ベルト張替えの際は、メインテンションプーリーをはずして頂くと作業しやすいです。

：カウンターベルト調整

1　ナット（E）を緩める。
2　テンションプーリーを下に押し下げる。
3　ベルトの張りを、指で押し 8mm－15mm 位下がる程度にする。
4　ナット（E）を締める。

：走行ベルト調整

1　ナット（F）を緩める。
2　テンションプーリーを上に押し上げる。
3　ベルトの張りを、指で押し 8mm－15mm 位下がる程度にする。
4　ナット（F）を締める。

：ブロアーベルト調整

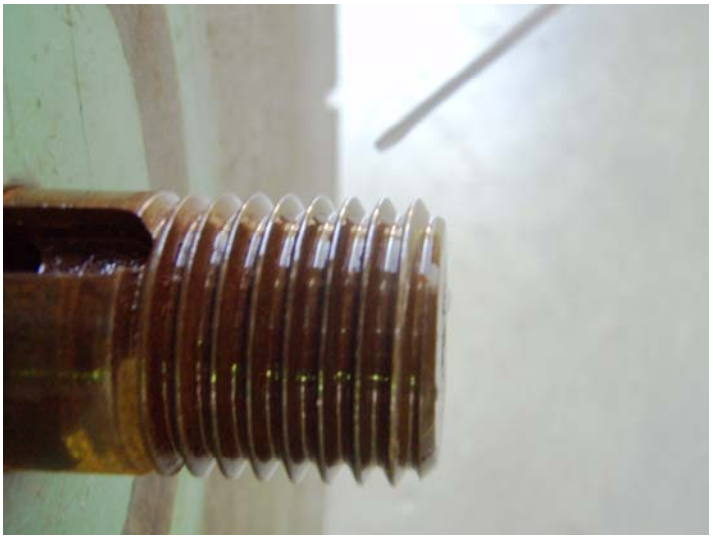
1　ボルト（G）を緩める。
2　テンションプーリーをブラケットごと押し上げる。
3　ベルトの張りを、指で押し 5mm 位下がる程度にする。
4　ボルト（G）を締める。

：ユニットベルト調整

1　ナット（H）を緩める。
2　テンションプーリーを張る方向に押し込む。
3　ベルトの張りを、指で押し 5mm 位下がる程度にする。
4　ナット（H）を締める。

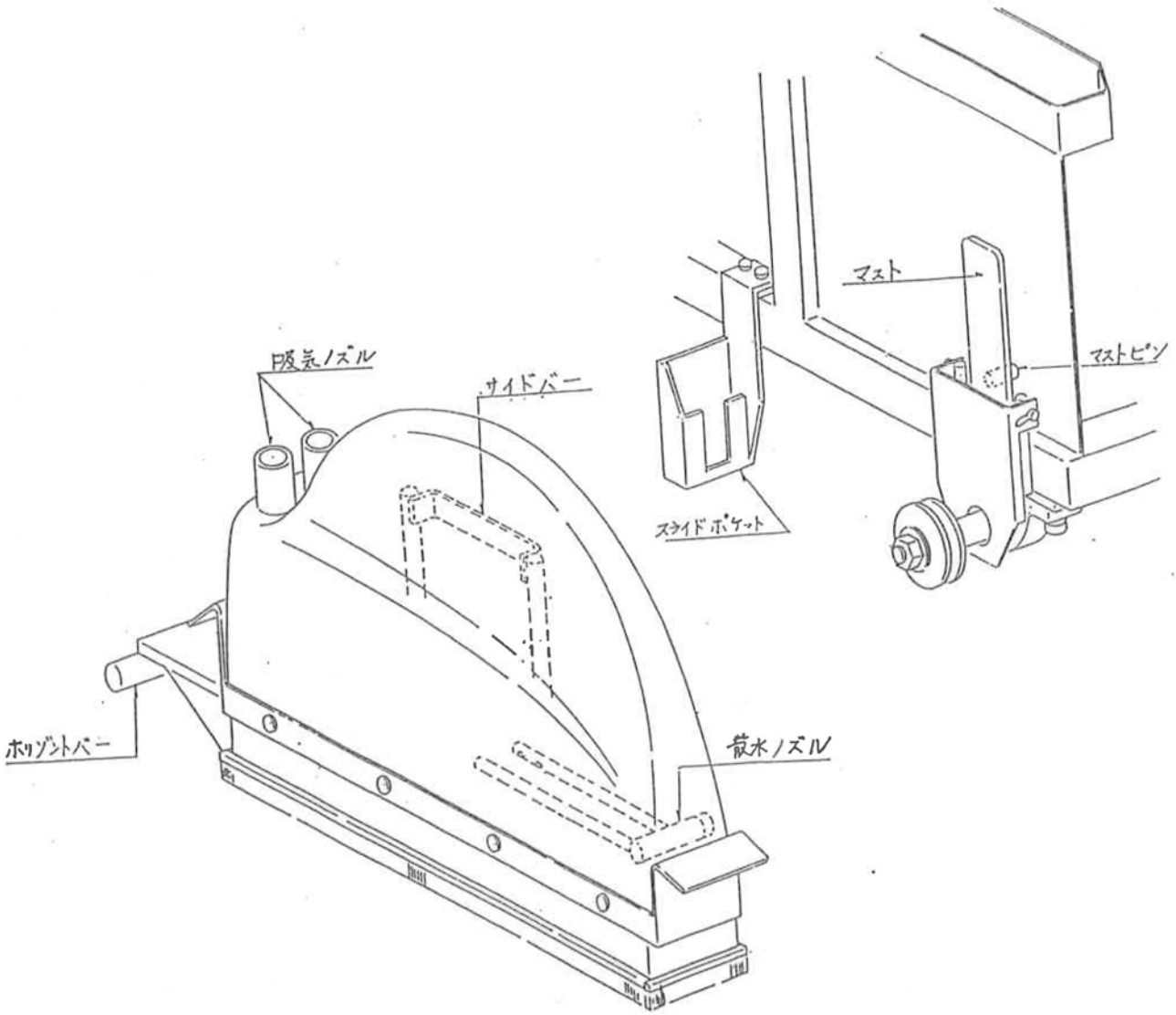
ブレードシャフトネジ部への注油のお願い

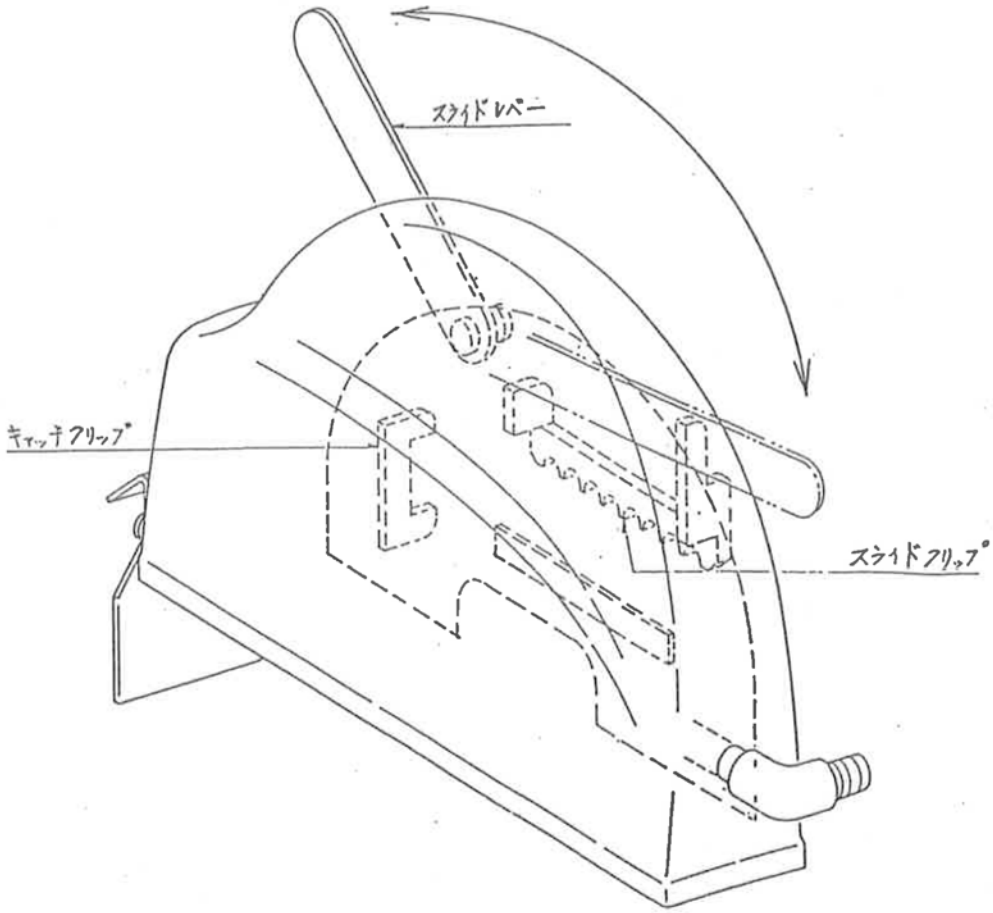
泥や埃がネジ部に堆積している状態。

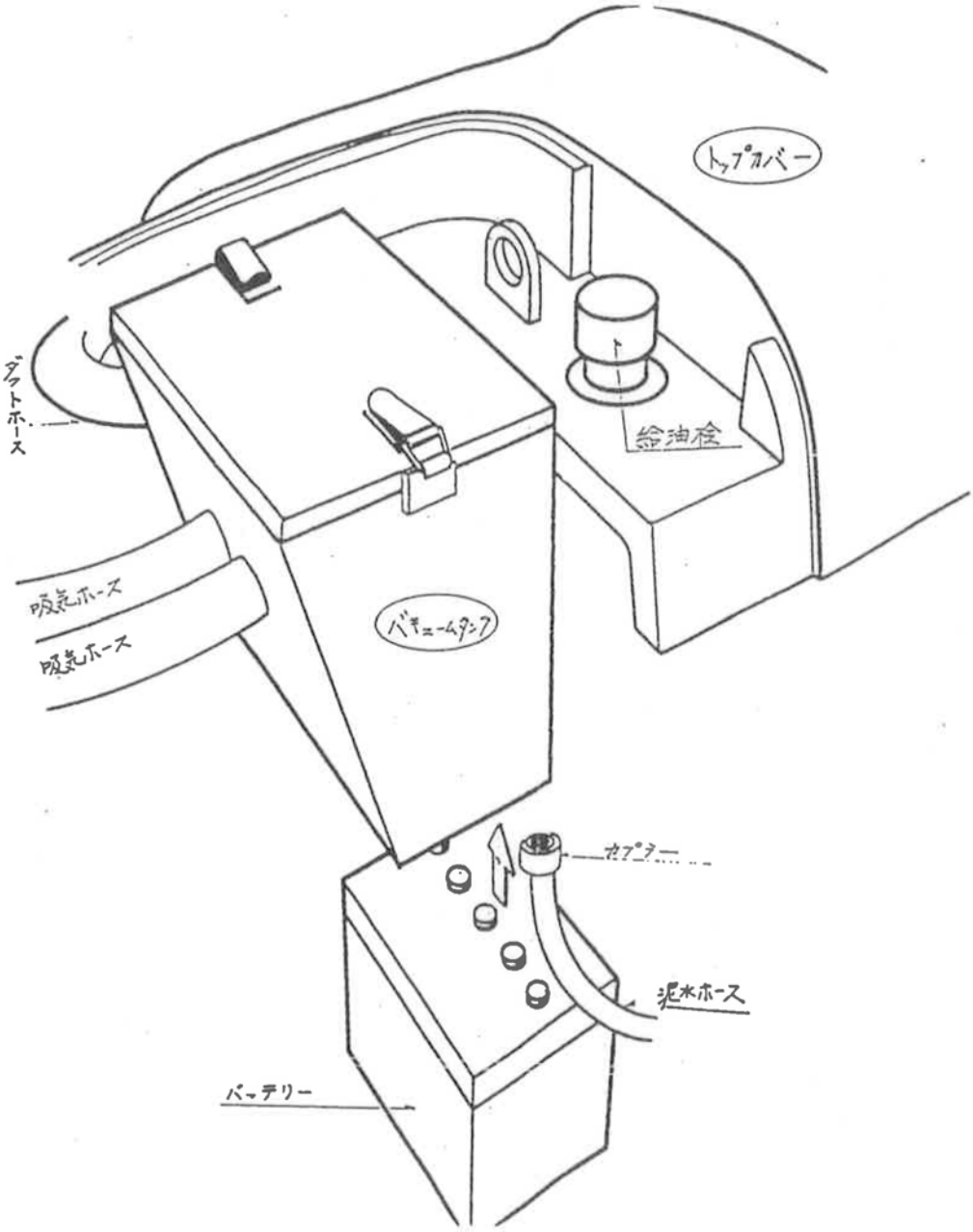


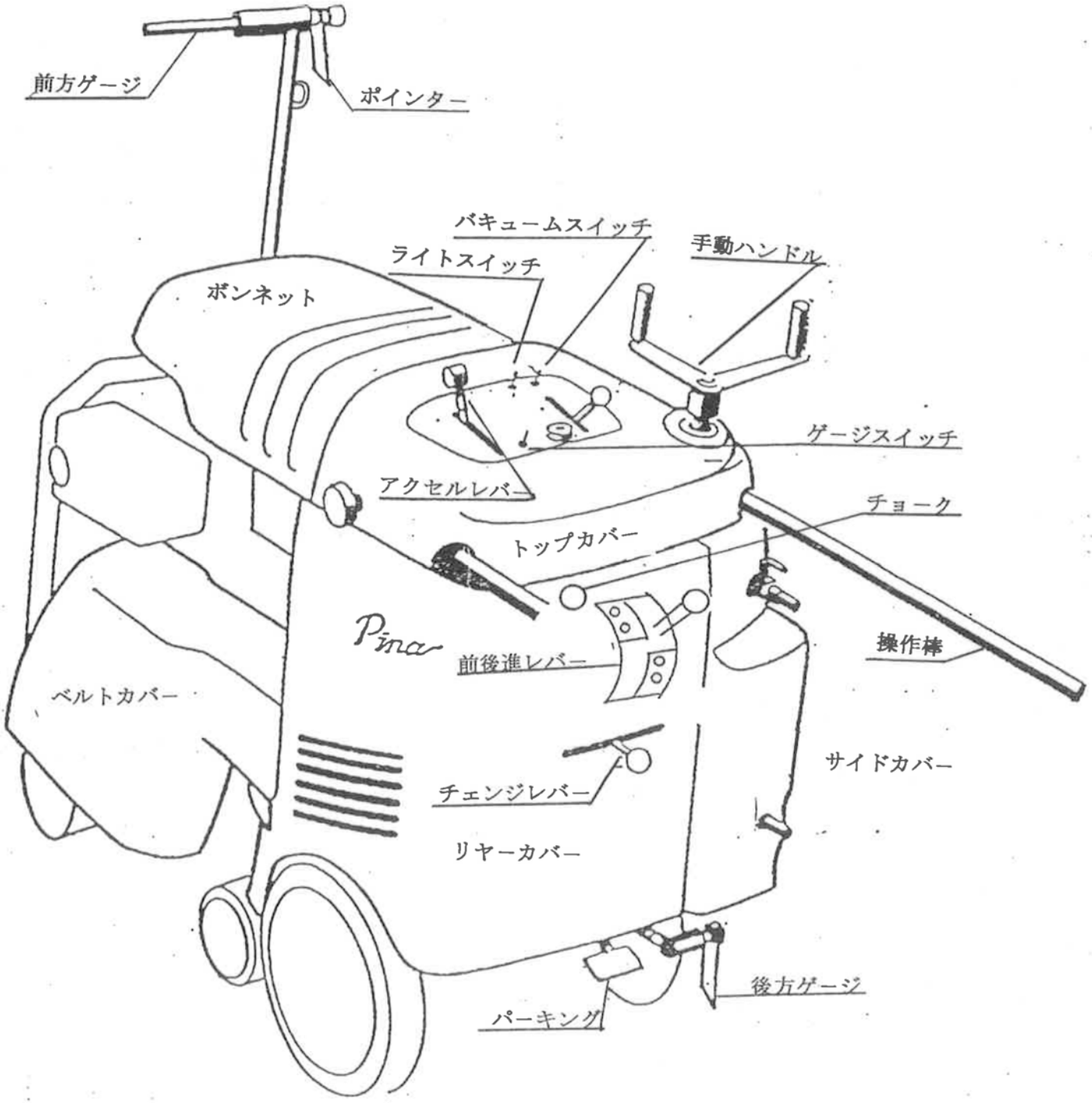
注油洗浄

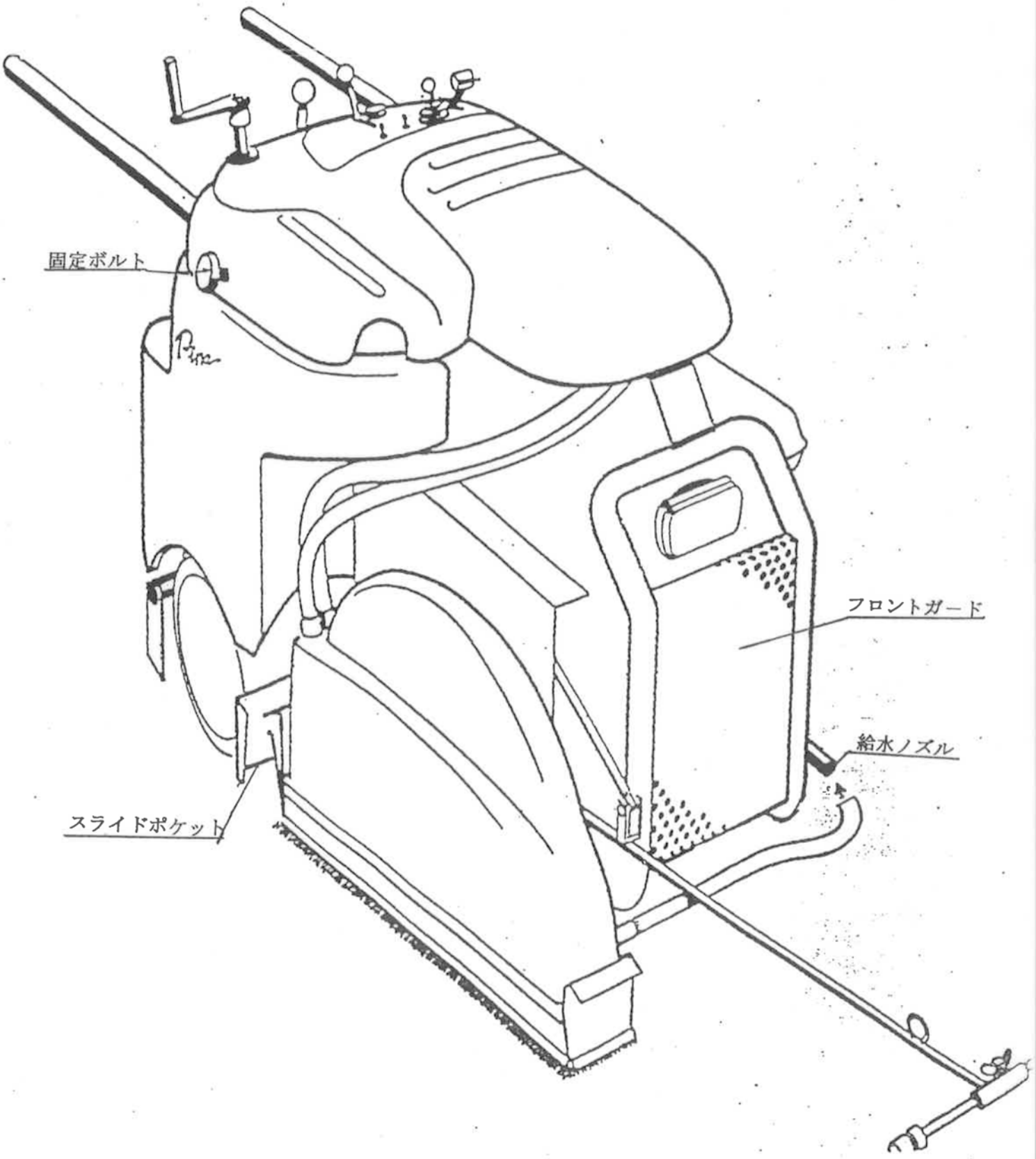
- 泥や埃がネジ山に挟まった状態で、ナットを締め付けるとオネジとメネジの噛みこみやナットが磨耗してしまいます。始業前・始業後毎にブレードシャフトネジ部への注油、3 日に一度キャブクリーナーをかけながらワイヤーブラシでシャフトネジ部・ナットネジ部の洗浄をお願いします。


マスト
マストピン
スライドポケット
吸気ノズル
サイドバー
ホリゾントバー
散水ノズル


スライドレバー
キャッチクリップ
スライドクリップ


トップカバー
給油栓
ダクトホース
吸気ホース
吸気ホース
バキュームタンク
キャブ
泥水ホース
バッテリー


前方ゲージ
ポインター
バキュームスイッチ
ライトスイッチ
手動ハンドル
ボンネット
ゲージスイッチ
アクセルレバー
チョーク
トップカバー
Pina
前後進レバー
操作棒
ベルトカバー
サイドカバー
チェンジレバー
リヤーカバー
後方ゲージ
パーキング


固定ボルト
フロントガード
給水ノズル
スライドポケット

仲山鉄工株式会社

〒426-0066
静岡県藤枝市青葉町 1 丁目 4 番 12 号
TEL：（054）635-1383
FAX：（054）635-0418
URL：http://www.nakayama-azz.co.jp
E-mail：info@nakayama-azz.co.jp

お客様メモ